

(様式1)

2026 年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 049	提案機関名 湘南漁業協同組合
要望問題名 藻場再生技術の迅速な展開と実証的な技術開発について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 <p>近年の磯焼けの進行により、当組合員の基幹となる刺網やみづき漁の主漁獲対象貝類のサザエ、アワビ類を始めとして、これらを捕食するタコやイセエビに至るまで幅広い魚介類に深刻な影響が生じています。</p> <p>鎌倉地区では協定に基づくアワビの資源管理に取り組むなど、漁協として資源管理にも取り組んでおりますが、改善の兆しが見られず、餌の供給場所であり有用魚介類の生息場所としての価値も高い藻場を再生することが、喫緊の課題となっています。</p> <p>ついでには、水産技術センターが開発中の早熟カジメ等を用いた藻場再生技術について、開発途上の技術も含めて早期に現場に投入し、実証的な技術開発に取り組んでいただくようお願いいたします。</p>	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画研究部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 藻場再生技術高度化試験			
対応の内容等 <p>水産技術センターでは、磯焼け対策として早熟性カジメやアカモク種苗を活用した藻場の再生研究に取り組んでいます。令和5年度には種糸大量培養施設の整備、現場海域への展開試験等を実施し、令和6年度からは相模湾全域を対象として広域的に県内沿海漁協・漁業者、多面的活動団体、市町と協同して藻場再生対策を進めております。</p> <p>藻場再生対策手法については、県内の各漁協と個別に相談し、各海域に合わせた方法の提案、現場での助言指導を併せて実施していきます。</p>			
解決予定年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			